２０２１年１０月３０日（土）晴　　播磨「善坊山・笠松山」
山の会例会主宰

参加者　Ｌ：廣田富三、新井義雄、江藤由紀　　計３名

コース距離：６．８ｋｍ、　所要時間：４時間１０分（休憩含む）

コース：善防公民館(9:00)→(9:16)登山口→(10:13)善防山
善防山(10:22)→(10:43)吊橋→(11:32)笠松山【食事休憩】
笠松山(12:06)→(12:33)古法華寺→(12:49)車道→(13:10)善防公民館

＊山行軌跡

＊行程グラフ
（-51は、50ｍに、　160は、251ｍに）

山行記：　善坊山・笠松山は、加西アルプスと呼ばれていて以前に電車を乗り継ぎ北条鉄道で来たことがある、今回は車で善防公民館駐車場に車を停めて、善坊山登山口から入山する。

岩混じりの道を登って行く主尾根に登りきると展望が開ける、幾つかの岩盤の向こうに灌木に覆われた善坊山が望める。

登るにつれて急斜面になってくる、ピークを越えて急登の登山道を登ると山頂に飛び出す山頂は北から東側が灌木が伐採されて展望が抜群である。

西へ下って行くと吊り橋が見えてくる橋の先の岩盤を登っている登山者が見える、吊り橋を渡ると大きな岩盤にでる、足を掛けられるところがないが真新しい鎖が付けれれて鎖を頼りに登って行くと緩やかな岩稜歩きになる。

急登を登りきると笠松山山頂に、展望台が有り眺望抜群である山頂は狭いのでバラバラに食事を摂り古法華寺側へ下山する。

古法華自然公園で紅葉が見られ古法華寺石仏群に、新しい石仏が見受けられるすぐ横に石彫アトリエ館がありここに依頼すれば作成してもらえる様だ。

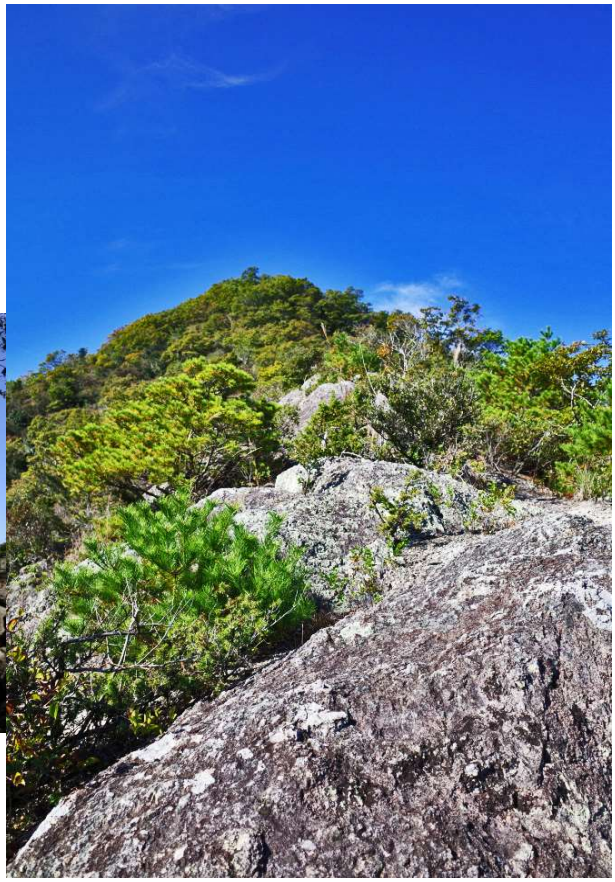
道路に出て吊り橋をくぐって善防池へ下って行く、善防池に出ると正面に皿池との間に渡り廊下のような道が有りその石橋が池に移り眼鏡橋に見えた。

中学校の前を通って公民館駐車場に戻る。

善坊山登山口

善坊山登山道を振り返る

登山道より善坊山



善坊山

善坊山から

吊り橋

笠松山を望む

鎖を頼りに登る

笠松山の三角点

石仏

吊り橋を潜って帰路

池面に映って眼鏡橋に